

平成16年11月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成16年 3月25日

ヤマトインターナショナル株式会社
 (URL <http://www.yamatointr.co.jp/>)

(コード番号：8127 大証第1部)

代表者 取締役社長 坂井 隆
 問合せ先責任者 取締役経理部長 名取 勇

(TEL:(06)-6267-7304)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度 : 無
 における認識の方法との相違の有無

2. 平成16年11月期第1四半期業績の概況（平成15年12月1日～平成16年2月29日）

(1) 売上高

(百万円未満切捨)

	百万円	%
16年11月期第1四半期	4,957	()
15年11月期第1四半期	()	()
(参考)15年11月期	19,161	(6.2)

(注) 当社では当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

[売上高に関する補足説明]

当第1四半期におけるわが国経済は、一部の企業に収益改善が見られ景気回復への兆しを感じられたものの、不安定なイラク情勢やBSE問題などが国内消費に大きく影響を及ぼし、依然として厳しい状況が続きました。

アパレル業界におきましても、個人消費の低迷や暖冬など天候不順の影響も受け、大変厳しい経営環境となりました。

このような環境の中で当社グループは、「顧客起点のビジネス」を基本に、市場での競争力を強化し、存在価値の向上を図ってまいりました。販売面では、基幹ブランド「クロコダイル」及び「エーグル」において自主管理売場の拡充とレディスラインの強化を推し進め、ファミリー型ブランドとして安定成長を目指してまいりました。また、新たなビジネスモデルの構築に向けて、今春物より展開するフランスのファミリーブランド「シリリュス」の導入準備も進めてまいりました。

この結果、当第1四半期の売上高は49億5千7百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成16年11月期の連結業績予想（平成15年12月1日～平成16年11月30日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	10,000	750	450	20.00
通期	20,000	1,600	900	40.00

[業績予想に関する定性的情報等]

業績は概ね当初の予想どおりに推移しており、平成16年1月23日発表の業績予想の修正はありません。

以上